

平成28年度事務事業評価シート(27年度実績)

◎基本情報

事務事業名		NPO法人との協働による図書館運営事業		担当部署	教育委員会 生涯学習人権課 図書館		
総合計画体系				根拠法令 計画など			
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業 期間	開始	平成	15年度
政策(中項目)	4	生きがいあふれるまちなると					
(小項目)		図書館					
施策	2	市民参加の図書館運営の推進			終期	未定	
基本事業	2	市民参加による図書館運営の推進とサービス向上					

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 全市民							
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	多くの市民が参加する効率的な図書館運営							
事業計画	27年度に何を計画していたか	平成27年度から図書館業務委託の拡大を実施し、休館日・館内整理日を火曜日・第一金曜日に変更するとともに、開館時間を9時から19時まで延長し開館日数及び開館時間を増やしてサービス向上を図る。また、NPO法人との連携を深め協働運営を充実させる。							
成果目標	事業目標の達成度合	指標名		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位
		運営・行事に参加した述べ人数		5,700	5,700	5,700	5,700	5,700	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	27年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	・図書館業務委託の拡大を実施し、休館日を火曜日に変更することにより、祝日が開館できるようになり、前年度より13日開館日数が増えた。また、全ての開館日の開館時間を9時から19時として開館時間を増やした。 ・円滑な図書館業務を行うため、定期的に「鳴門市立図書館運営連絡会」を設け、教育委員会及び市立図書館とNPO法人との相互共通認識により協働運営を行った。また、日常業務において、館内整理日に市職員とNPO法人は研修及び図書館業務の確認等意思の疎通を図り、サービス向上に努めた。						
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		26年度実績	27年度実績	28年度目標	29年度目標	30年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	ボランティア正会員数	128	134	115	115	115	人
	2	図書館等での行事件数	193	211	200	200	200	件
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	運営・行事に参加した述べ人数		5,530	5,521	—	—	—	人
	目標達成率(実績/目標)			96.9	—	—	—	%
今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり			

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	当初予算額	0	0	0	0	23,100	23,100
		全体予算額	0	0	0	0	23,100	23,100
		決算額	0	0	0	0	23,100	23,100
		繰越額	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員(6,859千円/人)	臨時職員(2,071千円/人)		総人件費		総事業費	
1.5		0.0		10,289		33,389		

【事務事業名：NPO法人との協働による図書館運営事業】
(千円)

事業費推移	年度	26年度決算	27年度決算	28年度	29年度	30年度
	事業費	11,825	23,100	24,100	-	-
	うち一般財源	11,825	23,100	24,100	-	-
	人件費	32,570	10,289	12,360	-	-
	総事業費	44,395	33,389	36,460	-	-

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		NPO法人に図書館業務委託を拡大し、開館日や開館時間を増やすことができ、概ね有効性があった。
	効率性	B:概ね効率的だった		本の貸出のみならず、図書館を利用するために来館する人が中高生を含め増え、概ね効率的だった。
②成果に対する評価	指標名	運営・行事に参加した述べ人数		NPO法人の工夫により、成人向けの行事を新たに企画し、行事数が増え概ね目標を達成できた。
	目標	5,700	人	
	実績	5,521	人	
	評価	B:概ね目標を達成できた		
③総合的な評価		B		NPO法人では自主的なボランティア活動は、創意工夫し市民サービス向上が図られた。一方、図書館業務委託においては、専門的知識や経験不足している部分があるためB評価とする。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	NPO法人は、自主的なボランティア活動では、子どもから高齢者を対象とした行事を継続的に実施する。図書館業務委託に関しては、普遍的な図書館サービスを安定的に提供するために、早急に専門的な研修が必要である。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	平成28年度	NPO法人と継続的に図書館運営を協議し、計画的に図書館業務研修を実施する。			
	平成29年度	NPO法人と継続的に図書館運営を協議し、計画的に図書館業務研修を実施する。			